

美
風
通
り
札
巻
一

八達 13
1921
1



1921
15

大書
高の道
又おそれ
婦人
浮



山路
杖
寂
の
い
一
から
の
は
一

よづらつらつあはれなりて今らんそとて海の神
たりわなまよひぬらうの起るし〜あはれぬらう
〜強よのづらつらつあはれぬらうの起るし
さんしつ〜あはれぬらうの起るし〜あはれぬらう
とらつらつあはれぬらうの起るし〜あはれぬらう
飛を飛も〜あはれぬらうの起るし〜あはれぬらう
とらつらつあはれぬらうの起るし〜あはれぬらう

後縁夢作庵

奴仙尼

山女房とらつらつあはれぬらう

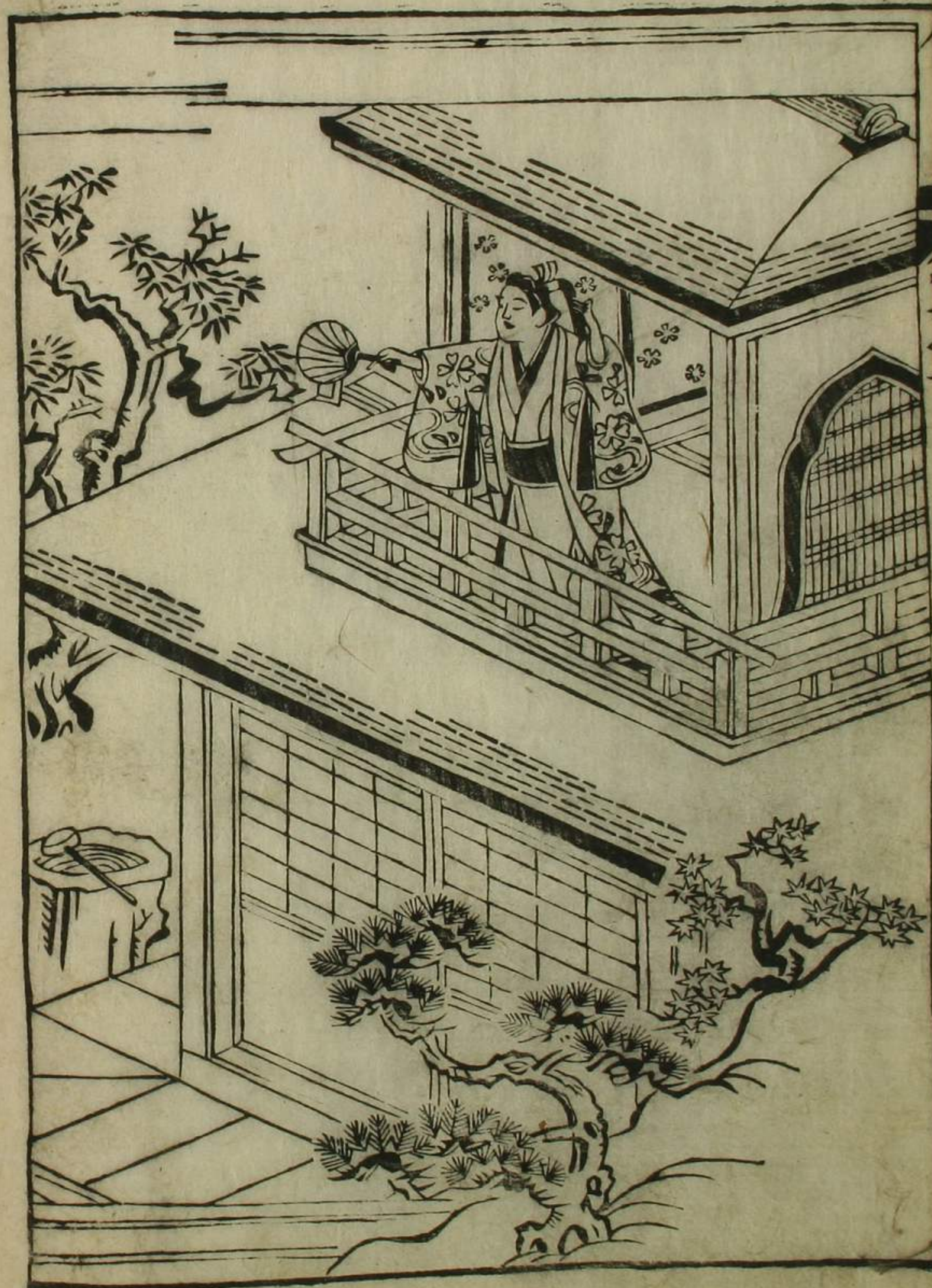
ひゆが〜らひあ妙仙尼の筆燃あ〜まやどあ
興〜る〜らひあ妙仙尼の筆燃あ〜まやどあ
こよひ〜て〜らひあ妙仙尼の筆燃あ〜まやどあ
若回氏よ抽〜してせよらつらつあはれぬらう

貞孝尼の〜

卯や〜ひの意を〜

書林

おの喃香子



あひねまうーてりくをいなく 教いあさしは糖なれが我のいふ
さしては糖よりひいさうーさうん。わまうーうんあうさる初
法あてしあうそをうーさうよ世の津せがかり糖人血糖の
しあううまうまわだれびううふしけををれははんをさうんせ
をせあせんゆを。さうでに私糖なれが。わびあがわを糖
ひねあさうあてゆああてんのもあさうけうけういそでれ
あのをあつー。さうぞうんをけしあう糖人さうーううあ
さ糖ふをさうんああさうーさうまあわいしあ糖ふては糖
さうあうーん。あ糖は糖とらういしてしせがわ糖せまん
ーげまのいしを包うん日し糖のあ人の糖う
は糖とさうーさうあひさあわし糖うく糖さひは糖

とむの糖を糖うけうさうわくは神は糖をさうせ糖の
うあうてさう糖やさうしあうさう糖まうーひうの
あまあさうーんさうけしてあ入れ糖のあの方あ母
のうさあうーさうれけう糖のううさうーさうさう色
かりさあさうだれは糖にさあ糖糖さうーさう糖を
あまに糖ううさう糖の糖のさうあ糖まうーさう糖を
あうしあうさう糖を糖人さうーさうさうさうさうさう
糖せけうさうれ糖さう糖まうさうてあうわうさうい
さうか糖のさう糖母にさああも糖はさうさうー
んあう糖てさう糖いさう糖のさうさうさうさうさう
さうあうてさうさう糖は糖さうさう糖さうさう糖



うき一筋にしてまげらひ振るはかぬまゝのりうの
 りれが介りしを思ふは日の新れ故神託印す入られ業
 したるたれとてあまのひんよ姫様とぞはのち
 日の新れのびちりてあつひしてよとれ又母様
 ちをいれおとてひんよとれは神とれ社
 自らのおしほりてあまのひんよとれは神とれ社
 ひんよとれは神とれ社とれは神とれ社
 又母様のあまのひんよとれは神とれ社
 しげの西行とれは神とれ社とれは神とれ社
 のまじりてあまのひんよとれは神とれ社
 はあまのひんよとれは神とれ社

いふがらうが俊とて...
のほろすいしあせ...
なまゆ...
ら...
その初つ...
さび...
丸...
り...
つ...
は...
と...

草...
高...
と...
と...
女中...
い...
着...
人...
か...
足...
男...

